

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

——— 2023年9月号 No.324

9月15日(金)発行 ———



進撃の Bidens

昨年から湿原の一角にヤナギタウコギが突如群生し、勢力を拡大しています。見慣れない花なので、常連の方からもよく「あれは何？」と聞かれます。(本種は在来種です。) 一方、木道入口から数百mのハンノキ林の水辺には外来種のアメリカセンダングサがこれまた大きく生長し、職員を悩ませています。

両種は同じセンダングサ属 Bidens の一年草。今年の異常な暑さが何か影響しているのでしょうか…

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（8/15～9/14） ☆☆☆



【ウメバチソウ】

ニシキギ科 梅鉢草

湿原の最終盤に咲く花です。木道から近いところであればぜひじっくり観察してみてください。



【オオバセンキュウ】

セリ科 大葉川弓

数は多くはないですが、湿原内の各所に咲いていました。人の背丈ほどに生長する大型のセリです。



【ゴキツル（実）】

ウリ科 合器蔓

ヨシなどに絡まって伸びるつる性の植物。楕円形の実がつき、そのうち2つに割れて種が落ちます。



【ハンゴンソウ】

キク科 反魂草

生育範囲が広く湿原周辺でも見られます。エゾシカがあまり食べず、結果的に残って目立っています。



【ハネナガキリギリス】

キリギリス科

木道の隙間に産卵するため、メスが時折こうして木道に現れます。踏みつけないようにご注意を！



【マユタテアカネ】 トンボ科

高温のせいか、トンボの仲間も数が少ないように思います。そんな中でも、本種は比較的目立っています。胴体の赤いのはオス。

○表紙の写真 上：ヤナギタウコギ 下：アメリカセンダングサ

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（8/15～9/14） ☆☆☆

賑やかだった鳥たちの鳴き声は少なくなりましたが、カラ類やキツツキ類などの留鳥の姿がよく見られるようになってきました。また渡り鳥にとってはもうじき渡りの時期を迎え、釧路湿原を通過していく鳥も確認できる季節になります。



【ノゴマ】 夏鳥

ヒタキ科 野駒

ハンノキの間から姿を現し、久しぶりに確認できました。オスの鮮やかな赤い喉元が印象的です。



【ゴジュウカラ】 留鳥

ゴジュウカラ科 五十雀

繁殖期が終わり、他のカラ類と一緒に行動していました。餌をどこかに隠す仕草を見せていました。



【クマゲラ】 留鳥

キツツキ科 熊啄木鳥

倒木を突いていたようで地面から飛び立ちました。ここ数年で時々確認されるようになりました。

絶滅危惧Ⅱ類（VU）・国の天然記念物

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（8月15日～9月14日）

花（和名は五十音順 * 外来種）	32	クサノオウ	64	ホザキシモツケ	8	オオアカゲラ
1 アキノウナギツカミ	33	クサフジ	65	ホソバアカバナ	9	アカゲラ
2 アメリカセンダングサ*	34	クサレタマ	66	ホソバイラクサ	10	クマゲラ
3 イケマ	35	クルマバナ	67	ホソバノヨツバムグラ	11	モズ
4 イチゲフウロ	36	コウゾリナ	68	ミカツキグサ	12	カケス
5 イヌタデ	37	コガネギク	69	ミス	13	ハシボソガラス
6 イヌトウバナ	38	ゴキツル	70	ミノガワソウ	14	ハシブトガラス
7 ウシハコベ	39	サジオモダカ	71	ミノソバ	15	ハシブトガラ
8 ウド	40	サラシナショウマ	72	ミソホオズキ	16	ヒガラ
9 ウメバチソウ	41	サワギキョウ	73	ミチヤナギ	17	シジュウカラ
10 エゾイヌゴマ	42	シオガマギク	74	ミツバフウロ	18	ヒヨドリ
11 エゾイラクサ	43	シロツメクサ*	75	ミツバベンケイソウ	19	ウグイス
12 エソウコギ	44	セイヨウタンポポ*	76	ミツモトソウ	20	ヤブサメ
13 エソオオヤマハコベ	45	セリ	77	ミミコウモリ	21	エナガ
14 エソゴマナ	46	タニソバ	78	ミミナグサ	22	センダイムシクイ
15 エソシロネ	47	チドリケマン	79	ムラサキツメクサ*	23	メジロ
16 エソトリカブト	48	ツリガネニンジン	80	ヤナギタウコギ	24	コヨシキリ
17 エソナミキ	49	ツリフネソウ	81	ヤナギタンポポ	25	ゴジュウカラ
18 エソノキツネアザミ	50	トウヌマゼリ	82	ヤブハギ	26	キバシリ
19 エソノコギリソウ	51	ドクゼリ	83	ヤブマメ	27	ノゴマ
20 エソヤマアザミ	52	トモエソウ	84	ヤマハギ	28	ノビタキ
21 エソリンドウ	53	ナガバノウナギツカミ	85	ヤマハハコ	29	コサメビタキ
22 オオヌマハリイ	54	ナガボノシロワレモコウ	86	ヨシ	30	キセキレイ
23 オオバコ	55	ハッカ	87	ヨブスマソウ	31	カワラヒワ
24 オオバセンキュウ	56	ハナタデ	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		32	ベニマシコ
25 オオヨモギ	57	ハリコウガイゼキショウ	1	キジバト	33	シメ
26 オトギリソウ	58	ハンゴンソウ	2	アオサギ	34	イカル
27 カタバミ	59	ヒメジョオン*	3	タンチョウ	35	アオジ
28 カラフトノダイオウ	60	ヒメムカシヨモギ*	4	クイナ	36	オオジュリン
29 キツネノボタン	61	ヒヨドリバナ	5	トビ		
30 キツリフネ	62	ヒロハヒルガオ	6	ノスリ		
31 キンミズヒキ	63	ヘラバヒメジョオン*	7	コゲラ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～」8月20日 参加者：14名 講師：藤原伸也（温根内VC指導員）
釧路湿原に生息する特定外来生物ウチダザリガニについて学び、実際に釣って間近で観察する恒例の行事を行いました。まずは参加者に本種の生態や特定外来生物についてレクチャーを受けてもらった後、温根内川へと向かいました。講師から釣りのコツとして、釣り糸を垂らしたらまずは「我慢」することを伝え、いざ釣りを開始。この日は曇りが

ちで時折雨の降る天気でしたが、開始早々に釣りあげる人が続出し、その度に歓声があがりました。1時間ほどで計25尾を捕獲し、上々の釣果となりました。釣ったザリガニはどれも10cm前後の立派な個体ばかりで、オスとメスの違いなどを観察した後、背ワタを取ってビジターセンターで引き取りました。特に参加した子どもたちは、ザリガニの生態や大きさに興味津々で、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。



○「アイヌの自然観 ～植物編～」9月3日 参加者：17名 講師：奥田幸子（釧路アイヌ語の会）

釧路アイヌ語の会の奥田氏に講師をお願いし、アイヌ民族が利用した植物を観察しながらアイヌの知恵と世界観を学ぶ散策会を行いました。樹木に絡まるつる性のコクワには多くの実がついており、アイヌの人々も生食はもちろん、お酒も作っていたとのこと。同じくつる性のイケマには強い魔除けの力が備わっていると同時に、人間界に降りるのを嫌がるヒグマ（キムンカムイ）の踵を取ってしまった、という伝承が残っているほど、位の高い植物としてアイヌから認識されていたことを知りました。湿原で目立っているのはガマの穂。アイヌの人たちはこの葉を編んで蓑を作っていたそうで、実際に葉を触ってみるとそのクッション性と肌触りのよさから、なるほどという実感を込めた感想が参加者から聞かれました。身近な植物を利用したアイヌの人々の知恵をこの日は多く学ばせてもらいました。



☆☆☆☆ イベントのご案内（10月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆
申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～

〔日時〕10月1日（日）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原に生息している絶滅危惧種ニホンザリガニ。生息環境と近年の状況を学び、実際に探しに出かけましょう。

♪秋の紅葉を見に行こう

〔日時〕10月15日（日）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけに行きましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪秋の紅葉を見に行こう

〔日時〕10月14日（土）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪ラムサール条約釧路会議30周年記念事業 晩秋の湿原野鳥観察会

〔日時〕10月28日（土）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

～アイヌ民族と植物 展示中～

現在館内にて、アイヌ民族と関わりの深い植物の標本などを展示しています。アイヌの人々がどのように植物を利用したか、彼らの知恵を垣間見ることができます。

展示は10/2まで。ぜひご覧ください。



主催：北海道環境財団・
釧路アイヌ語の会

月刊 温根内通信 No.324

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料